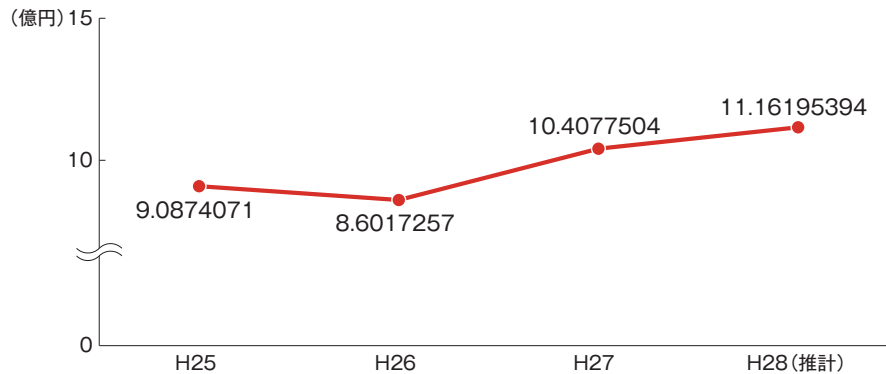


ダスキン健康保険組合加入者の医科医療費について

平成28年度のダスキン健康保険組合加入者の医療費（医科）について、これまでの推移と、どのような病気がどのくらいの割合を占めているのか、また、年齢によってどんな病気が多いのかを確認しました。

医療費の推移(医科合計) (平成25年度～平成28年度(推計))

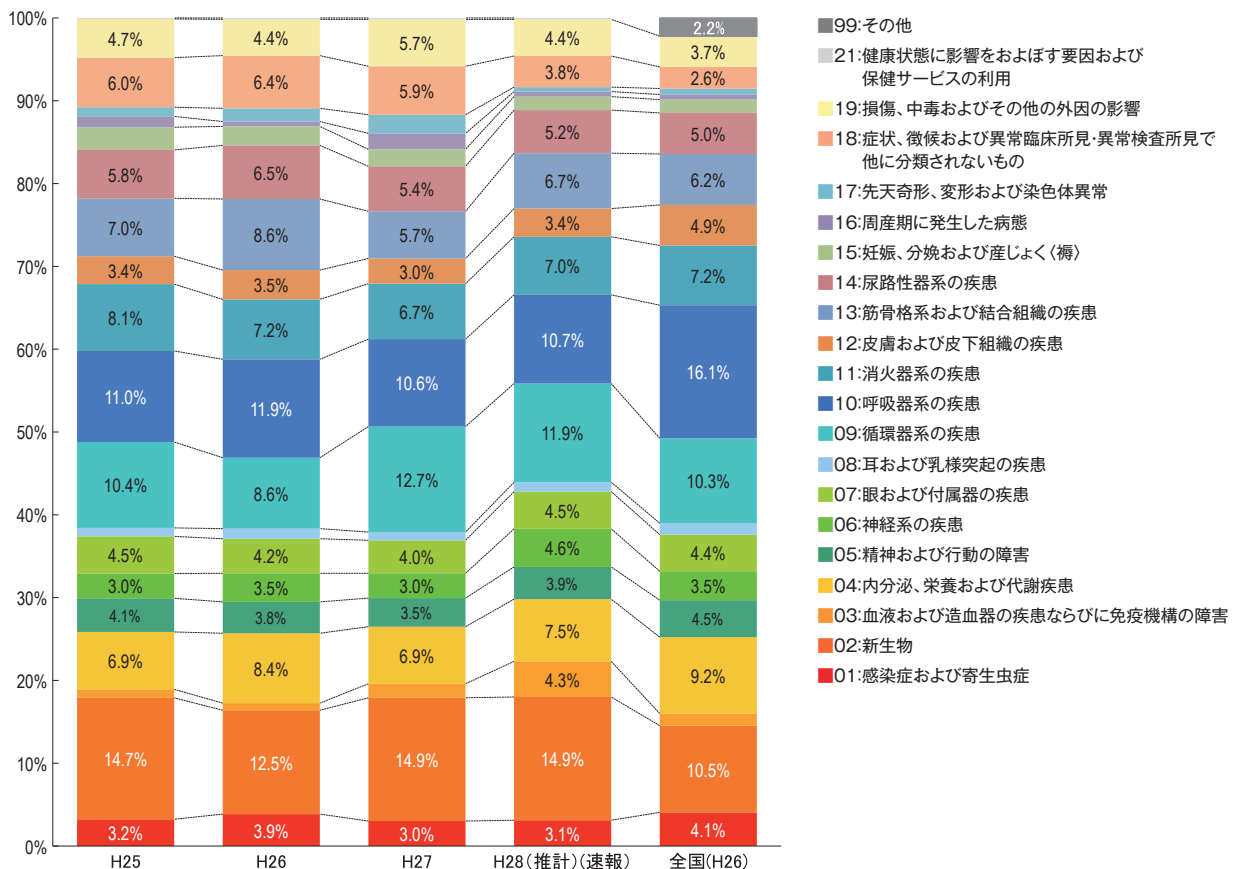


※平成28年度医療費(推計)は平成28年1月～11月診療分をもとに年間の医療費合計額を推計し算出しています。
 ※医療費は健保負担額、個人負担額の合計を掲載しています。

平成25年度～平成28年度の医科の医療費合計をみると、平成26年度で前年より一旦減少したものの、平成27年度では増加しています。平成28年度でもさらなる増加がみられます。

医療費構成比の推移(医科・疾病分類別) (平成25年度～平成28年度(速報))

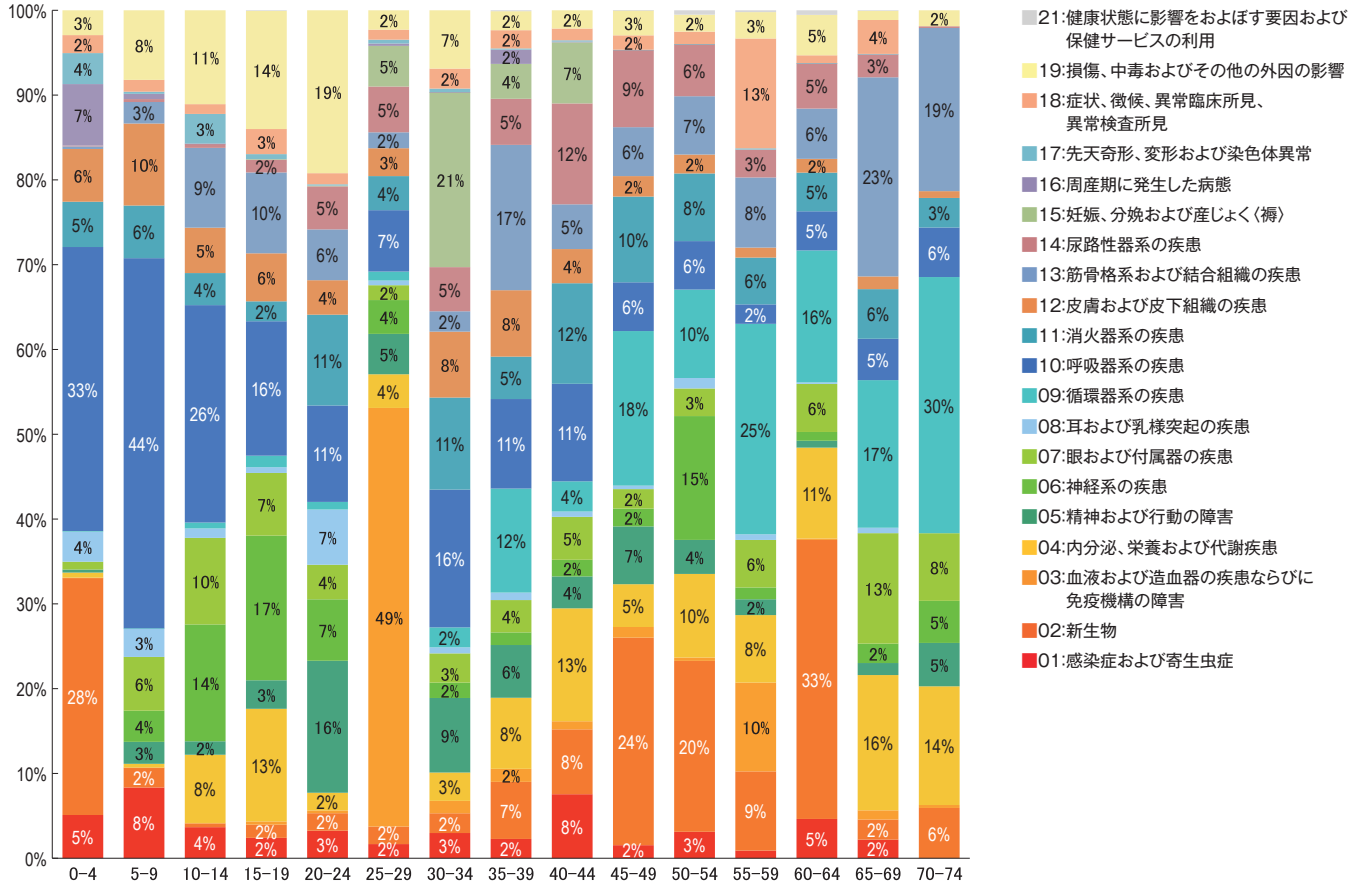
医療費(大分類)：医科レセプト構成比



平成28年度の医療費をみると、02:新生物(がん等 良性を含む)が最も大きな割合を占めています。平成27年度と比べほぼ横ばいと高い状態で推移しています。その他の疾患では、03:血液の疾患(特に貧血等)、04:内分泌系の疾患(特に甲状腺関連等)の増加が目立ちます。全国と比較すると02:新生物(がん等)、03:血液の疾患(貧血、血友病等)、06:神経系の疾患(神経系のまひ等)の割合が高くなっています。特に02:新生物(がん等)は平成25年度から継続して高い状態となっています。

年齢階層別医療費構成比(医科・疾病分類別)(平成28年度(速報))

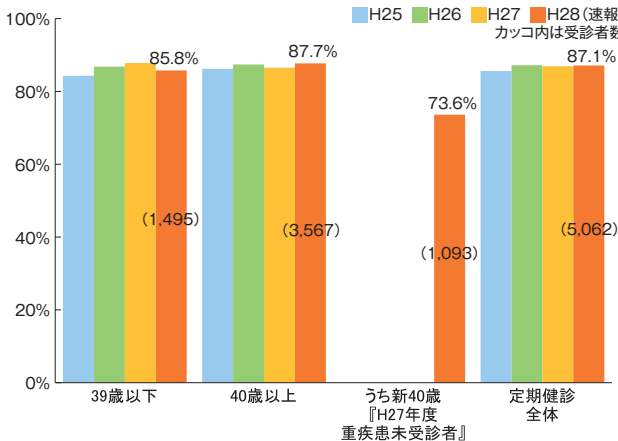
医療費(大分類): 医科レセプト構成比



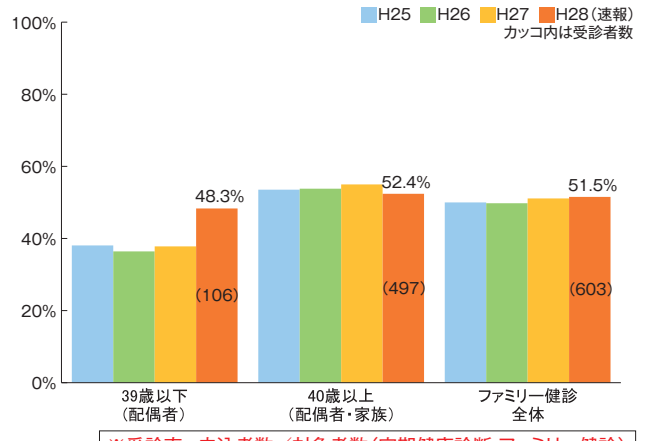
平成28年度の医療費を年齢層別でみると、24歳未満は10:呼吸器系の疾患(気管支炎、かぜ等)、19:損傷・中毒(骨折等)が占める割合が高く、40歳以上は02:新生物(がん等)、09:循環器系の疾患(高血圧症、心疾患等)の占める割合が高くなっています。平成27年度と比べ、40代、50代の09:循環器系の疾患(高血圧症、心疾患等)の割合は増加しています。40代では虚血性心疾患が、50代ではその他の心疾患の占める割合が平成27年度より高くなっています。前期高齢者(65~74歳)では、02:新生物(がん等)の割合は減少していますが、13:筋骨格系の疾患(特に関節炎等)が増えています。10代、50代の06:神経系の疾患(神経系のまひ、自律神経系の疾患等)も増加しています。

健康診断受診状況(平成25年度~平成28年度(速報))

定期健康診断受診率



ファミリー健診受診率



※受診率=申込者数/対象者数(定期健康診断・ファミリー健診)

健康診断の受診率は年々上がっています。定期健康診断の受診率をみると8割以上となり、ほとんどの方が受診しています。今年度より実施しました新40歳健診はまだ3割近くの方が受診していません。ファミリー健診の受診率は年々上昇し、健康診断を受診する方が着実に増えていますが、約5割の方が受診していません。大きな病気になる前の予防策として、健康診断を受診し、ご自身の健康状態を確認しましょう。